



目次 -Contents-

1	講習会・講演会情報	2
2	耐震診断・耐震改修の促進に関する 法律の改正に伴う耐震診断・耐震 改修相談窓口の設置について	3
3	第7回 常任理事会議のご報告	4
4	各支部よりお知らせ	5
5	会 員 動 静	11
6	役員さんの徒然雑記	12
7	事務局よりお知らせ	17

建築士定期講習・管理建築士講習のご案内

一級・二級・木造建築士定期講習

●平成26年11月 5日(水) 受付 平成26年8月18日(月)～10月20日(月)

会場 福岡建設会館7F 【定員200名】

※受付は当協会にて行います。

●平成26年12月17日(水) 受付 平成26年8月21日(木)～11月28日(金)

会場 ウェル戸畑(北九州市戸畑区汐井町1-6)

【定員50名】

※受付は(公社)福岡県建築士会(TEL092-441-1867)にて行います。

管理建築士講習

臨時開催

●平成26年10月7日(火) 受付 平成26年8月18日(月)～9月26日(金)

会場 東福第2ビル5F会議室 【定員16名】

※上記は臨時開催となります。受付は(公財)建築技術教育普及センターにて行います。

お問い合わせ等はTEL:03-6261-3310までお願いいたします。

また臨時開催分につきましては(一社)福岡県建築士事務所協会では受付を行いません。ご注意ください。

●平成26年12月2日(火) 受付 平成26年8月18日(月)～11月7日(金)

会場 福岡建設会館7F 【定員28名】

《お申込書の配布方法》

- 1. (公財)建築技術教育普及センターのホームページよりダウンロードが可能です。

ホームページ:<http://www.jaeic.or.jp/>

※平成25年度の申込書では受付ができません。必ず平成26年度の申込書をご使用ください。

- 2. (一社)福岡県建築士事務所協会 窓口にて配布いたします。

尚、申込者が定員に達し次第、期間内であっても受付を終了いたします。ご了承ください。

2

耐震診断・耐震改修の促進に関する法律の改正に伴う 耐震診断・耐震改修相談窓口の設置について

当協会ではこの度一般財団法人日本建築防災協会と契約を結び、建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正に伴い、耐震診断、耐震改修の円滑な実施、推進のために、建物所有者等の耐震診断・耐震改修の実施に伴う相談に応じる窓口を設置し、住宅・建築物の耐震化促進に関する支援を行うことになりました。



開設日

平成26年7月1日～平成27年3月4日

相談時間

平日 9:00～17:30

※土日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月4日、お盆(8月13日～15日))は休業日となります。

業務の内容

建物所有者等に対する耐震診断・耐震改修の実施に伴う相談への対応

- ① 改正耐震改修促進法の内容について
- ② 耐震診断・耐震改修の補助制度について
- ③ 耐震診断、耐震改修設計を誰に頼めばよいか
- ④ 耐震診断費用について
- ⑤ 診断を行う際の準備書類について
- ⑥ 耐震改修の具体的実施について
- ⑦ 耐震改修費用について
- ⑧ その他

相談体制

- ① 相談窓口内での電話相談
- ② 相談窓口内での技術者による対面相談
- ③ 現地における技術者立会いによる相談

相談窓口および 問合せ先

一般社団法人福岡県建築士事務所協会 事務局

- T E L 092-473-7673
- F A X 092-473-7278
- メール info@f-aa.jp



3

第7回 常任理事会のご報告

日 時 平成26年8月30日（土） 13：30～14：30

会 場 さかな家 そう馬 久留米店

出席者 会長、副会長、常任理事、事務長9名参加

1. 協議事項

■ ①平成26年度建築士事務所全国大会参加について

10月3日（金）に東京の帝国ホテルで開催の第38回建築士事務所全国大会（東京開催）について、各支部で取り纏めのうえ申込みがあった参加予定者の説明がなされた。会員18名、事務局職員1名の合計19名参加予定である。当協会では、1泊2日のツアーを福岡空港発着、北九州空港発着で企画しており、全国大会終了後に会場周辺で福岡会懇親会を行うこととし、会場を選定のうえ参加者に案内する。また、参加者には協会から登録料16,000円及びツアー代金10,000円の合計26,000円を補助することが承認された。

■ ②平成26年度建築士事務所キャンペーン実施について

日程、会場は、11月18日（火）にアクロス福岡円形ホールを予約しており、例年通り高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技表彰式と合わせて実施することが承認された。

イベントの基調講演については、福岡支部で現在企画中であり、予算、実施要綱を次回常任理事会で説明する。

■ ③福岡県知事指定講習「開設者・管理建築士等のための建築士事務所の管理研修会」実施について

■ ④会員名簿発行について

■ ⑤青年部会、女性部会、趣味の会の動きについて

女性部会は現在5名集まっており、2月に開催される酒蔵まつり等県内で行われる各種イベントに参加し交流を深めることを計画している。青年部会は現在発足に向けて準備中である。

趣味の会は会員、賛助会員に案内を送り、囲碁・将棋、麻雀、山歩き・ウォーキング、ゴルフ、釣り、ボウリング、写真については会員が集まっており世話人を中心に今後活動していき、メールマガジンで活動状況を報告し、会員を増やしていく。

■ ⑥平成26年度九州公共建築フォーラムについて

九州地方整備局営繕部と建築3団体及び公共建築協会で今後のフォーラムの実施についての検討会議を行い、結果今年度は準備の日程上開催が難しく、実施を見送ることが決まり報告された。来年度の実施については未定だが、実施する場合は早い時期から準備に取り組みこととし、会員に有意義な内容として欲しい旨出席者より要望がだされた。

2. 報告事項

■ ①防火戸等緊急調査業務実施中間報告

■ ②平成26年度「適合証明技術者」と「既存住宅現況検査技術者」の同日講習・登録実施報告

適合証明技術者は169名、既存住宅現況検査技術者は120名の登録があり、他県受講者を含め適合証明技術者業務講習は165名、既存住宅現況検査技術者講習は118名が受講された。

■ ③耐震診断・耐震改修の促進に関する法律の改正に伴う耐震診断・耐震改修相談窓口の設置について

■ ④法定講習実施報告、実施計画について

■ ⑤指定事務所登録機関関係報告

■ ⑥日事連関係

3. その他

■ ①次回日程について

常任理事会 9月11日（木） 15:00～17:00事務局

北九州支部からのお知らせ

8月 常任幹事会のご報告

日 時 平成26年8月6日(水)17時～19時

場 所 西部ガスひなた 2F会議室

出 席 者 林支部長、高崎、小野、山口、佐々木、福山、望月、久松、藤本

議 事

① 8月8日開催のボウリング大会の参加者数及び協賛品の報告

・参加者は40名、協賛品は会員・賛助会員の皆さま18社よりいただき全員に賞品を渡すことができました。



② 事務所協会北九州支部と建築士会北九州地域会合同の研修旅行について

・佐々木教育研修委員長より9月20日・21日に予定している佐賀嬉野の一泊研修旅行の説明があった。
参加人数は30名以上で参加費用は会員16,000円、会員以外は26,000円程度(参加人数により多少前後する。)

③ 医療・福祉施設防火戸等緊急調査業務調査について

・原調査員より北九州支部分担分の中間報告があり、当初の調査数より減少したため8月末で終了し、追加分については11月より調査を行う旨の報告がなされた。

④ 藤本副会長の建設事業関係功労者等国土交通大臣受賞 祝賀会について

・11月7日(金) 小倉北区のリーがロイヤルホテルで開催されることになりました。詳細は藤本副会長と協議しながら進めることになった。

⑤ 児童絵画展について

・今年度の児童絵画展の応募状況を確認するため、9月初めに小学校の校長先生にダイレクトメールを送り、事務局より前年度に応募して頂いた小学校に電話にて確認する。
表彰式はウエル戸畑の多目的ホールで10時半より行う。椅子席かテーブル席についてはウエル戸畑と協議して決定する。今年度は冠賞にて表彰する作品をプロジェクターを使って表彰する。

⑥ その他(相談案件について)

・北九州市の空家対策室より一般消費者からの相談として鉄筋コンクリート4階建ての建物の外壁が崩落しているの、対応できる施工業者の紹介依頼があった。

筑豊支部からのお知らせ

医療・福祉施設防火戸等緊急調査業務について

各施設のご協力により、調査参加者及び調査補助員にて、
飯塚市・嘉麻市・桂川町を順調に調査業務が行われました。
9月より田川市・京都郡・築上郡調査を行なわれます。

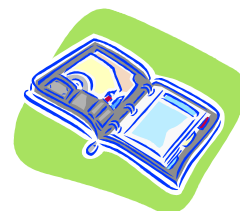


今後の予定について

第4回 幹事会

平成26年9月下旬を予定

議 題:医療・福祉施設防火戸等緊急調査業務について中間報告



福岡支部からのお知らせ

福岡支部 三役会・委員長会開催のご報告

下記のとおり、第4回三役会・委員長会を開催いたしました。

■日 時……………平成26年8月12日(火) 16:00～

■場 所……………建設会館5階事務局

■議 題……………◆入退会について

◆平成26・27年度各委員会への参加依頼について

◆平成26・27年度各委員会名簿(案)

●総務・財務委員会

●会員委員会

・建築倶楽部ゴルフコンペについて

●情報委員会

●事業委員会

・福岡市内一斉建築パトロールの報告

・建築関連法規の改正等講習会について

●研修委員会

・平成26年度建築士事務所キャンペーンについて

◆「検査済証のない建築物に係る指定確認検査機関を活用した
建築基準法適合状況調査のためのガイドライン」についての説明会
(ビューロベリタスジャパンより)

【県本部より】

◆全国(東京)大会について

◆趣味の会について



「建築関連法規の改正等」講習会のお知らせ

この講習会は CPD 特別認定プログラム (CPD 3 単位) です。

◆講習会内容

- 平成 26 年度建築基準法の改正等について
－平成 26 年度 合理的かつ実効性の高い建築規制制度の構築－
- 防犯環境設計指針について
- 消防法令の改正について

(主催) 一般社団法人 福岡県建築士事務所協会 福岡支部 公益社団法人 福岡県建築士会 福岡地域会

◆開催日・会場・定員

開催日時	会 場	定 員
平成 26 年 10 月 28 日 (火) 13:30~16:15	福岡建設会館 7F 701~702 会議室 福岡市博多区博多駅東 3-14-18 TEL 092-473-5506	100名

◆受講料 (1) 3,000円 (事務所協会会員 建築士会会員) (2) 6,000円 (会員外)

◆資料 当日配布

◆申込方法

下記用紙込書 (コピー可) 必要事項を記入の上、次のいずれかの方法によりお申し込み下さい。

①建築士事務所協会事務局へ現金持参する。

②申込書を FAX または郵送し受講料等は振込とする

③現金書留で申込書と共に送金する。 振込先: 福岡銀行 比恵支店 普通 1146381

口座名: 一般社団法人福岡県建築士事務所協会福岡支部

内容・時間・講師

内 容	時 間	講 師
・開会挨拶	13:30~13:35	主催者
・平成 26 年度建築基準法の改正等について	13:35~15:00	福岡市住宅都市局建築指導部建築指導課指導係長 後郷光信氏
・防犯環境設計指針について		福岡市市民局生活安全部生活安全課長 藤 義之氏
休 憩 10分	15:00~15:10	
・消防法令の改正について	15:10~16:15	福岡市消防局予防部指導課建築物係長 瀬戸雅徳氏

振込先・問合せ

一般社団法人福岡県建築士事務所協会福岡支部

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-14-18 福岡建設会館 5F TEL092-473-5506/FAX092-473-7676

◆申込締切

平成 26 年 10 月 20 日 (月) ※受講票等の発行はありません。

(受講料納入時に受付完了と致します。定員オーバーでお断りする場合があります。)

講習会申込書 平成 26 年 10 月 28 日(火)

受講者氏名	(フリガナ)	CPD 番号
勤務先名	(フリガナ)	所属団体 士会・事協・一般
勤務先住所	〒	
勤務先電話・FAX	TEL () FAX ()	携帯
受講料	<input type="checkbox"/> 3,000円 (事務所協会、建築士会) <input type="checkbox"/> 6,000円 (会員外)	
受講料納入方法	<input type="checkbox"/> 事務局持参 <input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 現金書留	

※申込書は一人一枚とし、2名以上の場合は、申込書をコピーしてください。

県南支部からのお知らせ

第3回役員会のご報告

日 時 平成26年8月27日(水)
場 所 久留米市役所301会議室
出席者 12名

議 事

- ▶ ① 7月25日に開催された納涼会の報告について
事業委員会の中山副委員長より報告がありました。
- ▶ ② 防火戸調査の進捗状況
8月末で170～180件完了し、9月より大木町・大川市・八女市・筑後市・広川町の調査を行う予定です。
- ▶ ③ 趣味の会について
趣味の会(囲碁・マージャン・ウォーキング・釣り・ゴルフ・カラオケ・ホーリング)が発足しました。
また、女性部会・青年部会も発足しました。
- ▶ ④ 研修旅行について
日程:11月2～3日 行先:大分方面にて決定、詳細は担当委員会で協議することとなりました。
- ▶ ⑤ 県本会との交流会について
「青木繁生家」と「月星記念館」を見学し、「さかな家 そう馬 久留米店」にて懇親会が行われる交流会での各役割を決定しました。



県本会との交流会のご報告

8月30日に県本会との交流会が開催されました。

久留米市での開催という事で、「青木繁旧居」「つきほし歴史館」の見学会を行いました。「青木繁旧居」では一旦解体し復元という事で、新材の使用・構造補強処置を施されていましたが、床の間、階段、雨戸の反転金物は、もとのままを使用されているとのことでした。

また、「つきほし歴史館」では、ムーンスターの今日に至るまでの130年あまりの歴史を鑑賞しました。参加者の皆様はどちらも興味深く見学されておりました。

懇親会では、「さかな家 そう馬 久留米店」にて行われました。

山田県南支部長の挨拶、井上会長の挨拶、中野前県南支部長の乾杯の御発声で会は始まり非常に有意義な時間でした。参加された皆様ありがとうございました。



大牟田支部からのお知らせ

幹事会のご報告

日時・場所 平成26年8月26日(火) 18時30分より(事務局 会議室にて)

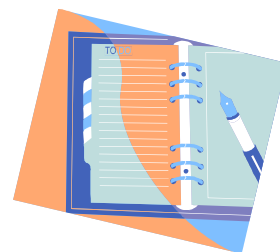
出席者 支部長:高巢 副支部長:宗正 常任幹事:中野 幹事:永江 監事:水町

■ 1. 報告事項

- ①7月30日(水) ・納涼会
出席者:会員6名、賛助会員8名、事務1名
- ②8月 5日(火) ・福岡県ゆとりある住まいづくり協議会総会
出席者:高巢
- ③8月19日(火) ・第3回会員委員会 出席者:荒木氏
- ④8月25日(月) ・第1回耐震診断・耐震改修事業委員会 出席者:高巢
・理事・監事退任者に対する慰労会
出席者:荒木氏、高巢
- ⑥その他 ・第38回建築士事務所協会全国大会参加案内

■ 2. 協議事項

- ①研修旅行について
 - ・日程:9月中旬(1泊2日)
 - ・行先:四国・中国地方の建築見学
- ②その他



次回幹事会:平成26年9月29日(月)18:30~ 於事務局

5

会員動静

新入会員のご紹介

事務所名	ケイミュー株式会社 九州営業開発室	賛助会
代表者	尾崎 智幸	
担当者	正野 弘毅	
所在地	〒810-8530 福岡市中央区薬院3-1-24	福岡支部 賛助会にご入会されました
TEL / FAX	TEL : 092-523-9755 / FAX : 092-523-9756	
営業種目	屋根材・外壁材・雨とい・外装建材メーカー	ホームページはこちら http://www.kmew.co.jp/

事務所名	株式会社ビルドプラン	賛助会
代表者	中島 浩美	
担当者	中島 圭司	
所在地	〒839-0865 久留米市新合川1-8-34	福岡支部 賛助会にご入会されました
TEL / FAX	TEL : 0942-45-3136 / FAX : 0942-45-3137	
営業種目	杭・山留工事	

今月は

副会長

藤本 孝行 さん (株)トーケン設計)



編です



事務局から岩本副会長の後の原稿をよろしく、との要請があり何頁でもいいからといわれましたので、お言葉に甘えて書いてみました。

夢に向かって

『空を自由に飛びたい』これが今の夢です。きっかけは私が15歳のころ祖母が下宿屋をしていた関係で、盆と正月に若い衆がよく訪ねて来ていました。あるとき海上自衛隊員の方と、陸上自衛隊員の方が訪ねてきました。“孝行君将来どうするの” “まだわかりません” と答えると、“決めてないなら、航空自衛隊がいいぞ、空を飛べるしかっこいい、自衛隊に入隊すれば、飛行機の操縦はできるし、衣食住はただ おまけに小遣いまでくれる。整備士の免許があれば定年して退職しても心配ない。ええやろ。” そんな会話がいまも耳に残っています。

途中40歳のころ免許取ろうと思いましたが、周囲の反対に押され断念、52歳のときもまた反対され断念、今度こそはと思いい年前から日本で通信教育で日本語で座学の勉強、昨年アメリカで操縦訓練と英語の座学、一年間のブランクはあるものの年内または64歳まで(来年4月)には何とか単独で空を飛べたらいいな と思っています。

乗る予定の機体は2人乗りのヘリコプターで米国ロビンソン社のR22ベータⅡ(写真)免許取得の暁には、命の保証はありませんが、勇気のある方、私と遊覧飛行でもしましょう。空はいいですよ。空気と雲しかなく。初日の出が雲海の上で見たい。天の川も見たい。魔法の絨毯で空の夢はまだまだ広がりそうです・・・



わが町戸畑

つぎは『わが町戸畑』の紹介をしたいと思います。北九州市の中でも一番狭くて目立たない町ですが、私が生まれ育った街なのでぜひ紹介したいと思います。私が子供のころの戸畑は大企業がたくさんあり活気あふれる街でした。八幡製鉄(戸畑工場)、旭硝子、日本水産(捕鯨の本拠地)、明治製菓(見学に行くとマーブルチョコやキャラメルをお土産にいただきました)、明治製糖、戸畑鋳物(日産自動車のルーツ)などです。

当時は戸畑市でしたので市としては世界で1,2位を争うくらいの人口密度でした。

現在小倉南区にある日本の競馬の発源地と言われていますが、実は八幡製鉄所戸畑工場のあるところに明治41年に東洋競馬会の競馬場がありましたが、八幡製鉄所を作るため移転したのです。

時の政府は軍馬の品種改良に取り組んでおり生産の奨励、**品種改良**の成果確認のために競馬の開催を必要としていたそのため、政府は馬券発売を伴わず、勝った**馬主に補助金を与える**競馬の開催を推進する事としたそうです。

戸畑の牧山はその昔、御牧とって九州でも有名な牧場だったそうで、名馬を多く産出しています。磨墨もこの地で飼育されて源頼朝にさし出されたとされています。梶原源太景季は鎌倉時代の武将ですが、源頼朝に従い、源(木曾)義仲追討のとき源義経に率いられ、佐々木高綱と宇治川の先陣を争った(1184年)。そのとき名馬「磨墨」にまたがって、宇治川を2番目に泳ぎ渡った物語は有名です。ごぞんじでしたか。

旧松本邸で国の重要無形文化財の指定を受けている西日本工業倶楽部、安川敬一郎が私財を投じて建設した明治専門学校(現九州工業大学・明治学園)あまり知られていないと思いますが、山川健次郎という方。この方は会津白虎隊の隊士で、東京帝国大学、京都帝国大学、九州帝国大学の総長を歴任した方ですが明治専門学校の初代総裁が山川健次郎です。**国づくりはまず教育が大事**ということで**私財を投じて学校をつくり**安川敬一郎が招聘した方です。

まだまだ戸畑にはたくさん紹介したいことがたくさんあります。以下は私のロータークラブの先輩(歯科医の永松先生)が作成したのですが、とてもよくまとめられているのでぜひ紹介したいと思います。話がかさなっているものもありますし、量が多いのですがあしからず。次にまた機会がありましたら北九州全体のお話でもしましょう。

わがまち戸畑の歴史散歩

戸畑ロータリークラブ ホームページより

<http://www.tobata-rc.gr.jp/>

～戸畑祇園大山笠～

福岡県夏の三大祭りの一つ。享和2年(1802)村中に疫病が流行し、須賀大神(須佐ノ男命)に祈願し平癒を祝ったのが起源とされています。

この戸畑祇園は昭和32年福岡県の文化財、55年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。

- ①昔ながらの原型をとどめる。特に幟山の夕まき行事など風俗が貴重で珍しい。
- ②夜の提灯山笠は、組立てと豪華さで他に類例がない。
- ③囃子も独特で格調にすぐれている。
- ④引幕の刺繍は貴重な資料とされている。



～戸畑の由来～

北九州のほぼ中央に位置する戸畑は万葉集に「ほととぎす とばたの浦にしく浪の ししば君を見むよしかも」と謳われ日本書紀、筑前風土記にも「飛旗、鳥旗」と記されているように、古くから「とばた」と呼ばれていた。

現在の戸畑という地名は、慶長年間の筑前古図の中に「戸畑村」として登場しており、明治初期までは田園と白砂青松の続く半農半漁の一寒村であった。明治中期、鉄道・電車の関連周囲の発展に連れ、工業都市として都市形態を整え、製鉄所を中心とした海面埋め立てによって大正13年市制を施行するに至った。



～飛旗八幡宮～

鎌倉時代、遠賀郡花尾城主の麻生氏が枝光に八幡大神を祀ったのが始まりで、江戸時代に鳥旗に移り、大正9年に現在の浅生に遷座した。八幡大神、須賀大神、名護屋大神が祀られている。

祭り	
春季大祭	4月14～15日
祇園祭	7月第4土・日 はさむ3日間
夏越祭	7月14～15日
秋季例祭	10月14～15日



～戸畑そば～

飛旗八幡宮の境内に、神饌蕎麦耕作地という碑がある。いつ、どこの畑に建てられたものか明らかでないが、神饌として「そば」が耕作された事跡を物語っている。

文化年代(1814年頃)「去年は不出来て「そば」はございませぬが、この節の御用は格別のことでありますので「種子そば」として囲っているものの.....」
文化十一年三月戸畑村庄屋〇〇〇と古文書が残っている



～牧水の句碑—飛旗八幡宮境内～

「新懇のこの坂道のすそとほし 友のすがたの其処ゆ登り来」大正14年11月、戸畑の毛利雨一樓宅への途中、荒生田から鞘ヶ谷を越えた時の作である。



～戸畑区役所～

大正13年(1924)市制施行当初、市役所は通町の旧町役場を庁舎としていた。老朽化したので現在地に建設した。



～国境石—従東豊前国小倉～

明治4年に廃藩置県になるまでは、筑前黒田藩と豊前小笠原藩の藩界であった。堂ヶ峰(金比羅山)より流れる境川が両国の界であり、この界を中心に江戸時代には色々と紛争があった。

箱崎協定(次回に後述)により元禄15年頃に境川の川中に建てたもので、昭和32年区役所前に移した。



～箱崎協定による国境石—従西筑前国～

筑前黒田藩と豊前小笠原藩との界は、中原・金毘羅山・荒尾田・大蔵・田代などでよく紛争が起こっていた。境界は古くは川、山の地形、植樹した林、祠などでなされており、一應正保年間に大まかな国繪図が出来ていたが、元禄時代になって時の幕府から石高その他の検地の必要から、諸藩に国繪図の提出を求められた事から国境紛争が表面化した。

そこで元禄13年、筑前国箱崎村に両藩相寄って境界線を協定し、国境の印石を建てる事を決め元禄15年中原から大蔵、田代に至るまで18基を建てた。これが箱崎協定といわれるものである。現在14基が残っており当時の位置のままのものは6基である。



～河白斗 島 (カワゴシマ) 記念石～

戸畑区役所の前庭に国境石と並んで河白斗島記念石がある。若戸大橋の下、戸畑側海中に周囲500m程の小島があった。通称「中の島」と言ったが、筑前風土記には「河白斗島」と訓まれている。戦国時代から城があったといわれ、慶長年間に黒田長政の出城があったが、幕府の一国一城令により元和元年取り壊された。

明治になってコークス工場、貯炭場、造船場があったが、洞海湾の発展に合わせて昭和15年切り除いた。その島の石を残して記念石としている。



～北九州市民憲章の碑—戸畑ロータリークラブ～

昭和56 (1981) 年、第270地区年次大会を主催した記念事業として北九州市へ市民憲章碑を寄贈。

緑を豊かに
清潔で美しいまちにします
きまりを守り
安全なまちにします
人を大切にし
ふれあいの輪をひろげます
元気で働き
明るい家庭をつくります
学ぶ楽しさを深め
文化のかおるまちにします



～照養寺～

河白斗 島 (通称 中の島・洞海湾の内) にあった城の武将、竹之内治部が得度し永正12年(1515年)約485年前、釈了正として照養寺 (浄土真宗西本願寺派) を開基した。また、戸畑小学校発祥の地でもある。現在の住職 (十九代) は戸畑ロータリークラブのゲスト会長 竹内正道氏である。明治9年11月28日、鳥旗小学校 (4年制) 発足。



～東光寺地藏堂～

遠い昔、戸畑が一寒村の頃、名護屋岬 (製鉄所構内埋立て地) に無住の地藏堂があった。お寺が焼失し、明治になって現在地に移り、地藏堂帆柱四国二十一番札所として建立され、延命地藏菩薩が祀られた。

安産・子授・合格・水子供養の祈願にご利益を授かった方々は多く心から喜ばれ、信仰を深めている。



～戸畑恵比須神社～

寿永の昔 (1182年) 平家の残党が地元の人々と相談して出雲の国の美保神社より事代主命 (えびす様) を勧請し奉祀した社です。800年間祀り継いだ由緒深い戸畑の氏神様です。

春季大祭 4月2・3・4日
秋季例大祭 12月2・3・4日



～太陽電池時計—戸畑ロータリークラブ～

国際ロータリー創立75周年記念事業、並びに戸畑ロータリークラブ創立25周年記念事業として太陽電池時計を戸畑駅北側に設置した。「無限の太陽エネルギーが永遠の時を刻む 戸畑ロータリークラブ」の銘を入れてある。



～若戸渡船～

若松・戸畑間は明治維新前から漁民が個人で経営し、大渡川渡船と呼ばれていた。大正時代になって若・戸共同市営となった。現在就航しているのはわかと丸で40トン、定員100名、2～3分くらいで対岸に着く。

料金は大人50円、子供20円。
1日の利用客は約5000名位。



～若戸渡船転覆事件～

昭和5年4月2日、当日は風浪が激しく、また、定員オーバーの為 若松側岸壁から約90mの箇所で転覆した。時に午後4時37分、死者73名の大惨事であった。



～身代わり地藏～

若戸大橋の戸畑側入り口の近くに、通称「身代わり地藏」が建っている。

昭和5年若戸渡船の転覆による事故者、また近くの鉄道に飛び降り自殺者が相次いだため、住民が昭和6年に「身代わり地藏」を建てた。

その後、水子地藏や観音様が次々に持ちこまれ、昭和26年に住民が木造の堂を建てたが、平成6年に不審火で焼け落ち、すぐ近くに再建した。



～若戸大橋～

我が国最初の吊橋部を含む全長2,068mの有料道路で、1962年 (昭和37年) 9月に開通した。吊橋部は627m、大型貨物船の出入に備え、満潮面上40mの高さである。

当初、歩道と2車線だったが、交通事情により平成2年歩道を廃止し、4車線とした。



～大野伴睦句碑～

「渡り初め 若戸大橋爽かに」
橋脚下の大橋公園にある。
伴睦は橋の建設に大変尽力した。
これを記念するため若松、戸畑
の有志が昭和37年9月に建てた。



～牧水の句碑—毛利雨—楼宅跡～

「われみたび此処に来たりつ家のあるじ、
寂び定まりて静かなるかも」
昭和2年5月13日
牧水弟子の毛利雨—楼宅跡の句碑。



～菅原神社～

道真公が筑紫に左遷された時、当地に来て日が暮れ寺の僧
に宿を求めたが、僧が怪しみ恐れて「鶏が鳴くまで」と言っ
て泊めた。僧は謀り夜中に鶏の鳴き声を真似て早立ちさせた。

公没後、その徳を偲んで
建立したと言われる。その後
当地では鶏を飼わず、飼った
ものは異形の鶏を生ずると言
われる。

祭神 菅原道真公
須佐之男命



～楠木 紅梅—戸畑ロータリークラブ～

平成3年（1991）4月18日、戸畑ロータ
リークラブ創立35周年記念植樹として天籟
寺天満宮に梅の木を寄贈した。

現在大きな樹木となり、毎年紅梅の花が
咲き参拝者を楽しませている。



～史蹟 菅公御手洗の池～

菅原道真公が天籟寺に宿をとられた折り、
手を洗った泉と言われる。この水を使って
字を書くと、上手になると言われている。
また、この池の蛙は「人の血を吸わない」と
言われ、これは菅公が口留めをしたものと
言われている。



～天賀城跡～

築城者、築城年代は不詳だが菅原神社の前、菅原公園一帯
が城跡と言われる。この城は麻生氏（遠賀郡内を支配して
いた）出城で、天賀二郎三郎家行
の居城 天正9年（1581）大友勢
により落城、家臣は全滅した。

公園の一隅に五輪の塔があるが、
これが城主の墓と伝えられている。



～天籟寺の六地藏（おしろい地藏）～

麻生氏の出城（菅原神社の前の菅原
公園一帯）天賀城主、天賀二郎三郎家
行その子、熊三郎左衛門等が天正9年
（1581）大友氏により落城、その悲
惨な最後を弔うため天明8年（1788）
に建てたと言われる。

地藏は小児の病氣平癒に靈験がある
と言い、おしろい地藏とも言われる。



～夜宮の大矽化木～

昭和15年、区画整理中に地下から発見されたもので最大幅
2.2m、長さは推定40mもある日本最大級の矽化木である。

約44万年前に出来た地層に埋まっていたもので、広葉樹の
幹に含水遊離珪酸が置換沈殿して石灰化したものである。

この矽化木の発見は、北九州
地方の当時の植物景観気候等を
考察する上に貴重な資料となっ
ている。



～中原八幡宮～

祭神 神功皇后 北売大神 応神天皇
配神 須佐三男命

天正7年（1579）枝光村八幡神社を招請
小祠を営み崇祀す。

寛文年間（1660）に小祠を廃し、今の
地に社殿を遷した。

安政2年（1856）に火災で消失、安政
6年（1859）再建した。



～鉾津線～

八幡製鐵の廃滓処理問題として八幡と
戸畑作業所間に専用軌道施設が計画され
た。鞘ヶ谷、大谷か一枝通って中原に通
う製鉄鉾津線がこれである。

昭和2年（1927）3月に起工、昭和5年
（1930）2月に開通した。
全長6,388m、トンネル、高架線の他23
ヶ所の橋梁がある。工事費155万2千円。



～金刀比羅神社と金比羅山～

戸畑、八幡、小倉のほぼ中央にあり、
海拔125mの山頂に金刀比羅神社が祭っ
てある。祭神は崇徳天皇、大物主命小彦
名命で元分3年（1738年）讃岐国から
勧請齋祀した。

昭和46年（1971年）現在の社殿を
新築、昭和55年（1980年）境内に恵比須
神社の社殿を再興す。



～鞘ヶ谷ほたるの里案内板—戸畑ロータリークラブ～

平成8年（1996）4月11日戸畑ロータリークラブ創立40
周年記念事業として、北九州市が実施
している「ほたるの里」施設を市民に広
くPRする為、鞘ヶ谷ほたる公園（鞘ヶ
谷第3公園）に案内板を寄贈した。

内容は、ほたるの里全体図、ほたる
の生活史、飼育施設の説明です。



～菖蒲池一夜宮公園～

植付面積 約520㎡ 植付株数 約3,500株

花菖蒲はあやめ科の宿根草、江戸期にノハナショウブから改良された日本特産の名花で、花は大きく紫や白・紅・藍色など花弁は三弁から六弁八重もある。

観賞期間 6月初旬～中旬



～放送塔—戸畑ロータリークラブ～

昭和61年4月18日、戸畑ロータリークラブ創立30周年記念事業として夜宮公園に放送塔を寄贈した。毎朝の体操の集まりに利用されている。



～戦没者慰霊塔と八重桜33本

(戸畑ロータリークラブ)～

西南の役以来の戸畑出身戦没者の霊を慰める為昭和34年市民の浄財で夜宮公園広場に建てられた。その周囲に終戦33回忌(昭和53年8月15日)記念に八重桜33本を戸畑ロータリークラブが植樹した。



～西日本工業倶楽部～

この建物は、松本健次郎氏(1870～1963)が明治44年住居と迎賓館を兼ねて建てた。日銀本店や東京駅の設計者辰野金吾氏によるもので、明治期の洋風建築の新美術様式を取り入れている。昭和47年国指定重要文化財となる。



～九州工業大学～

安川敬一郎、松本健次郎の父子により明治40年創立、全国唯一の4年制工業専門学校。大正10年官立へ移行。明専の愛称で親しまれたが、昭和24年(1949)九州工業大学となった。



～明治学園～

明治40年 明治専門学校附設私立明治尋常小学校として発足。明専関係職員の子弟、安川、松本家並びにその関係会社職員の子弟を中心とした少定員の学校であった。大正10年 明専の官立財団法人明治学園として独立。昭和20年 新学制に従って中学校を設置し、昭和24年経営をノートルダム修道会に移管、昭和25年高等学校を併置し小中高の総合学園となった。



～総合体育館～

戸畑・八幡・小倉の接点に建つ本格的な体育館。昭和49年(1974)1月開館。

平成7年6月に大規模改修した。

本館 地下1F 地上3F
別館 地下1F 地上1F
観客席数 10,020人



～若松水道の碑(牧山浄水場跡地に建つ)～

明治の終わり頃、将来の若松の用水不足に備えて遠賀川の水を利用する目的で建設された。八幡製鐵の鬼ヶ原貯水池(八幡東区大谷)の水を分水するため 牧山に浄水場が作られた。

そこに集めた水は、洞海湾の海底に埋設された鉄管を通して若松に送られた。明治42年(1909)に着工し、3年後の明治45年(1912)に完成した。



～北九州市立美術館～

美術の鑑賞に適した閑静な環境に、また北九州市を象徴する個性的な特徴をもったものと言うことで現在の高見丘陵に、デザインは世界的に著名な建築家 磯崎 新氏に依頼した。

昭和48年3月着工、翌49年9月に竣工した。

所蔵品として
ルノワール
「麦わら帽子を被った女」
クロード・モネ
「睡蓮、柳の反影」 など。



～明専会館～

昭和33年(1958)九州工大開学50周年事業として、旧安川五郎氏邸を一部改装して明専会館を建設した。昭和46年(1971)全面改装し、明専会館「ガトウ不二」を開店し引き続き昭和58年(1983)野崎茂文氏に経営を委託し現在に至る。

営業種目は結婚式場、各種宴会場、レストランなど。野崎氏は戸畑ロータリークラブのメンバー。



～牧山船舶通航信号所(第7管区会場保安本部)～

洞海湾に入出港する船舶の安全を図るため台場鼻レーダー局(下関彦島)、若松港、二島信号所をマイクロ波回線で結び、レーダーとテレビ映像および電光信号板またはSSB放送により各種情報の提供と航行管制を行う施設です。



～お汐井汲みの記念碑(戸畑山笠)～ 42

お汐井汲みは海水で山笠台の4本柱と関係者の手を清め、祭りの安全を祈る山笠行事の一つお汐井汲みと棒洗いに利用できる階段護岸を設置。

7月の祭りの中日には、4つの山のうち東・西・天籟寺の各山笠のお汐井汲みが行われる。

中原の山笠は中原海岸で行われる。



取り扱い書籍のご案内

窓口もしくは代金引換による発送も承っております。
 詳細は事務局までお問い合わせください。(TEL 092-473-7673)

書 籍 名	会員価格 (税込)	一般価格 (税込)
四会連合 建築設計・監理業務委託契約書類	926	1,234
業務記録台帳	1,080	2,160
工事監理報告書(土法20条の2)	324	324
福岡市 確認申請の手引き	500	1,000
建築士事務所のための業務書式モデル集2008(CD-ROM付)	3,693	4,104
失敗を繰り返さないために実例に学ぶ建築設計・監理の予防と対策	3,403	3,780
知っておきたい建築構造の工事監理(鉄骨造編)改訂版	4,860	5,400
設計事務所のISO9001-認証取得ガイドブック	2,500	2,777
建築設計におけるコスト戦略(CD-ROM付)	3,888	4,320
「改正建築士法による重要事項説明ポイント」	1,204	1,338
平成20年改正建築士法・政省令等の解説	2,700	3,000
実例に学ぶ建築士事務所のトラブル予防	2,057	2,571
建築物における天井脱落対策に係る技術基準の開設	1,234	1,543
床面積算定方法の補足		400
軸組計算表		60
福岡市福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル		1,280

福岡市予定建築物のお知らせ看板	会員価格 (税込)	一般価格 (税込)
サイズ915×915 仕様:トタン (木枠付き)	7,088	8,088
サイズ915×915 仕様:ターポリン地 (木枠付き)	6,764	7,764
サイズ915×915 仕様:ターポリン地 (木枠なし)	4,388	5,388

※トタン(木枠付き)仕様の販売は現在の在庫が無くなり次第終了となります。
 ご希望の際は事務局までお問い合わせください。

建築士事務所の登録標識・修正用シール 建設業の許可票	会員価格 (税込)	一般価格 (税込)
建築士事務所登録標識	12,720	14,720
建築士事務所登録標識 修正用シール	2,620	3,620
建設業の許可票(事務所用)		14,720

さて今回は少し趣向を変えて、皆さんも良くご存知の“橋”です。福岡都市高速を天神・博多方面から西に向かうと、博多湾に架かる大きな橋が見えてきます。「荒津大橋（あらつおおはし）」です。1987年（昭和62年）の完成以来約30年間、福岡の都市高速環状線の一部として交通の大動脈となっています。今は車専用道路ですが、開通した時には橋を「歩いて」渡る記念イベントも開催されました。



高さは39メートル、建物にして10階分以上。福岡で一番高い橋です。天神の街並みと博多湾～能古島が一望できる光景は、昼間もちろん夜景も一見の価値あります。車で通過する際にはあまり感じる事はないですが、下から眺めると圧倒される大きさです。1990年（平成2年）には第3回福岡市都市景観賞を受賞しました。

では今度は橋の形に注目してみましょう。主柱一本から斜めに広がった13本のケーブルが橋桁を支える仕組みで、「斜張橋」と呼ばれる構造は長スパンの橋梁に適した形です。なぜ斜張橋が選ばれたのでしょうか？それには博多の港事情が関係しています。実際に荒津大橋を渡ると、陸側にタンカーの造船所があることが分かります。タンカーが完成・進水した際に橋の下を航行させる必要があります。大型船の航行に必要な高さと同様に、一本柱の斜張橋が選ばれました。タイミングが良ければドッグに入った、真っ赤な錆止め色のタンカーを見ることができますよ。



晴れた日には志賀島まで見渡せる見晴らしの良さは、福岡市内を走る観光バス「福岡オーブントップバス」ルートにも組み込まれているほど。特に夕暮れ時には西日が差し込み雰囲気あるドライブエリアですが、脇見運転にはくれぐれもご注意ください。



(事務局：上杉)

福岡オーブントップバスについてはこちらから
<http://fukuokaopentopbus.jp/>

荒津大橋 (あらつおおはし)

- 【形式】 3径間連続斜張橋
- 【橋長】 345m
- 【主塔高】 103m
- 【海面高】 約4.3m
- 【工期】 昭和59年～昭和62年：4年間
- 【総工費】 約57億円

最新の情報はホームページにてお知らせしています。
 新着情報コーナーをご覧ください。

<http://www.f-aa.jp/>

■ 記事掲載等のお問い合わせについて
 (一社)福岡県建築士事務所協会 「建築福岡Monthly」編集担当までご連絡ください。

■ TEL: 092-473-7673 / FAX: 092-473-7278 ■ E-mail: info@f-aa.jp